

# 予算総額 63億9千270万6千円 平成29年度当初予算を可決



新年度予算について、議長を除く議員7人で構成する予算特別委員会(委員長 中本 諭)を設置し、3月8日、慎重に予算審議を行いました。

定例会最終日の3月9日、中本委員長から「委員会として平成29年度予算を採択すべき」との審査結果報告があり、本会議で採択の結果、総額63億9千270万6千円の予算を原案のとおり全会一致で可決しました。

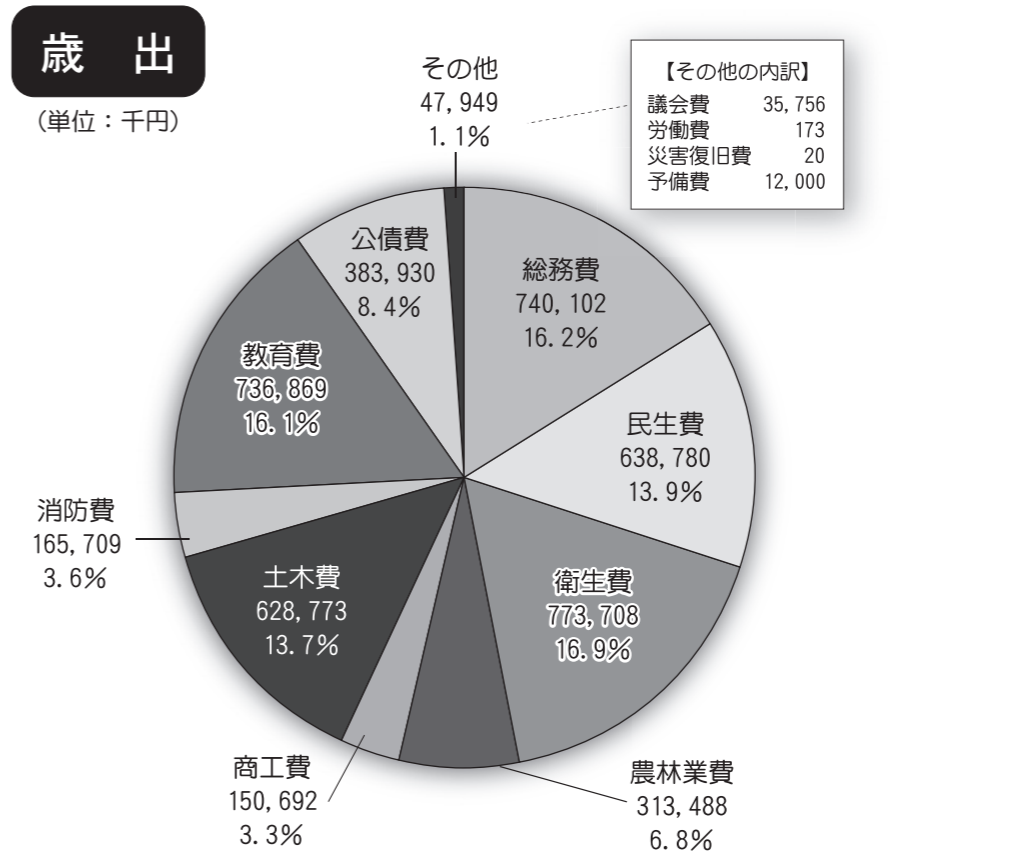
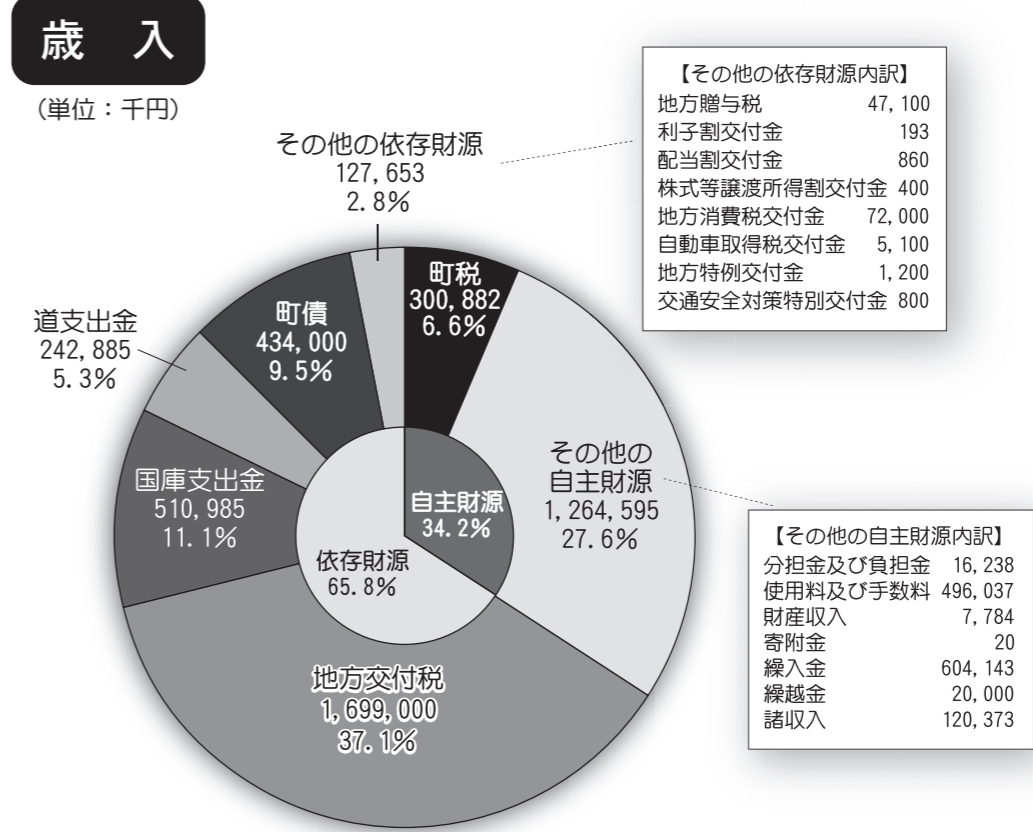
区分	本年度予算額	前年度予算額	増減
一般会計	4,580,000千円	4,230,000千円	8.27%
国民健康保険特別会計	667,524千円	657,090千円	1.59%
後期高齢者医療特別会計	61,720千円	61,945千円	△ 0.36%
介護保険特別会計	585,000千円	564,366千円	3.66%
観光事業特別会計	111,000千円	778,912千円	△ 85.75%
簡易水道事業特別会計	288,303千円	242,911千円	18.69%
公共下水道事業特別会計	99,159千円	96,714千円	2.53%
合計	6,392,706千円	6,631,938千円	△ 3.61%

**町税関係**  
山内委員 町民税の普通徴収分が昨年より600万円程度増えている要因は何か。  
税務住民課長 農業所得の増が一番大きい要因です。

**使用料関係**  
今井委員 公営住宅使用料、特別会計の使用料は別として使用料全体について、町民サービスの分だと思っておりますが、町としての考え方は。  
伊藤町長 町民のみなさんに利用していただくための施設であり、健康増進などのため、安い使用料で使ってもらおうのが根本で、町民サービスの一環として必要と思う。

**国・道支出金関係**  
植西委員 教育費の中でALTに対する補助金はあるのか。JETプログラムの補助金についてお聞きしたい。  
生涯学習課長 補助金はありません。JETプログラムの場合には交付税に算入されるが、今回本町の場合はJETではありません。

# 予 算 審 議



# 一般会計歳入歳出予算 45億8千万円